

1. 科目名 (単位数)	公的扶助論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2106
2. 授業担当教員	若杉 英治		
4. 授業形態	講義、グループ学習等	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	我が国の社会保障制度の一部であり、生活を支えるうえでの「セーフティネット」ともいわれる公的扶助に関する制度の基礎知識を体系的に学習する。具体的には、貧困や低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際などに着目しながら、公的扶助の考え方やその歴史について学習する。また、我が国の公的扶助として中心的な役割を持つ生活保護制度について、その原理、原則、実施体制、制度運用の現状と問題点、被保護者の権利及び義務、相談援助活動や自立支援の取り組みを学ぶとともに、低所得層対策の考え方や具体的な制度について学習する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代における貧困・低所得者の問題について理解し、説明することができる。</li> <li>2 社会保障制度における公的扶助の役割について理解し、説明することができる。</li> <li>3 公的扶助制度の歴史について理解し、説明することができる。</li> <li>4 生活保護制度と低所得者支援の制度について理解し、説明することができる。</li> <li>5 生活保護の動向と課題について理解し、説明することができる。</li> <li>6 生活保護制度・低所得者支援における相談援助活動について理解し、説明することができる。</li> <li>7 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の試験問題（低所得者支援と生活保護制度）について、解ける力を持つ。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	15回の講義のうち、1回、生活保護制度に関わるレポート課題を課す。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援』 中央法規出版、2021 年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・生活保護制度、低所得者に対する制度の内容や、これらの制度をとりまく問題について理解できたか。 ・国家試験に対応できる知識を、身につけられたかどうか。 ○評定の方法 授業への参加度 30% 試験・レポート 70%		
12. 受講生へのメッセージ	近年、貧困が非常に大きな問題として取り上げられている。公的扶助はそのような貧困問題に対処するための仕組みのひとつである。制度はなかなか複雑であり、難しい分野かもしれないが、クライアントのために学ぶという高い問題意識を持って学んでほしい。授業の進行については下に示しているのので、予めテキストを読んでおく程度の予習は最低限してもらいたい。		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション 貧困の概念 (テキスト第 2 章)	事前学習	テキスト 2 章を読んでおくこと。
		事後学習	貧困の基準について考えること
第 2 回	公的扶助の概念 (第 1 章)	事前学習	テキスト 1 章を読んでおくこと。
		事後学習	公的扶助とは何かについて説明できるようにしておくこと。
第 3 回	貧困の歴史 (第 3 章)	事前学習	テキスト 3 章を読んでおくこと。
		事後学習	公的扶助制度がどのように変わってきたのかを説明できるようにしておくこと。
第 4 回	生活保護制度の目的・原理・原則 (第 4 章第 1 節 1・2)	事前学習	テキスト 4 章 1 節 1・2 を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護制度の二つの目的について説明できるようにしておくこと
第 5 回	生活保護の種類と内容① 生活扶助 (第 4 章第 1 節 3)	事前学習	テキスト 4 章 1 節 3 を読んでおくこと。
		事後学習	生活扶助の第 1 類費、第 2 類費、加算のそれぞれの機能について説明できるようにしておくこと。
第 6 回	生活保護の種類と内容② その他の扶助 (第 4 章第 1 節 3) 保護施設 (第 4 章第 1 節 4)	事前学習	テキスト 4 章 1 節 3・4 を読んでおくこと。
		事後学習	医療扶助と介護扶助の受給プロセスについて説明できるようにしておくこと。
第 7 回	被保護者の権利と義務・不服申し立て・財源等 (第 4 章第 1 節 5~9)	事前学習	テキスト 4 章後半を読んでおくこと。
		事後学習	被保護者の権利と義務について説明できるようにしておくこと。
第 8 回	生活保護の動向 (第 4 章第 2 節)	事前学習	テキスト 4 章 2 節を読んでおくこと。
		事後学習	近年の生活保護の動向について説明できるようにしておくこと。

第9回	低所得者支援の制度① 生活困窮者自立支援制度など (第5章第1節、第2節)	事前学習	テキスト5章1・2節を読んでおくこと。
		事後学習	貸付の手順について説明できるようにしておくこと。
第10回	低所得者支援の制度② ホームレス支援(第5章第3節、第4節)	事前学習	テキスト5章3・4節を読んでおくこと。
		事後学習	ビデオを見て考えたことをまとめること。
第11回	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割① (第6章第1節、第2節、第3節)	事前学習	テキスト6章1・2・3節を読んでおくこと。
		事後学習	福祉事務所の役割について説明できるようにしておくこと。
第12回	貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割② (第6章第4節、第5節、第6節)	事前学習	テキスト6章4・5・6節を読んでおくこと。
		事後学習	自立相談支援機関の役割について説明できるようにしておくこと。
第13回	貧困に対する支援の実際①(第7章第1節、第2節、第3節)	事前学習	テキスト7章1・2・3節を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護における相談援助のプロセスについて説明できるようにしておくこと。
第14回	貧困に対する支援の実際②事例1・2(第7章第3節)	事前学習	テキスト7章3節事例1・2を読んでおくこと。
		事後学習	生活保護における自立支援の意義について説明できるようにしておくこと。
第15回	貧困に対する支援の実際③事例4・6(第7章第3節)	事前学習	テキスト7章3節事例4・6を読んでおくこと。
		事後学習	生活困窮者自立支援における自立支援の意義について説明できるようにしておくこと。